

(別紙)

著 作 物 目 録

1 サイト名(チャンネル名)

感動アニマルズ～動物たちの感動物語～

2 動画タイトル

幼いライオンを救った男性。野生に戻した1年後の再会に涙が溢れる【感動】

3 URL

<https://www.youtube.com/watch?v=ZqJ-ihMeejc>

4 投稿日

2020年6月5日

5 内容

感動アニマルズ

ボツワナ共和国に、人間に育てられたライオンがいます。

人間のエゴでそうなったのではなく、あくまでもライオンを自然に戻す為の生活です。無事に自然に戻る事のできたライオンは、その後久しぶりに育ての親である人間に再開した時、どのような反応をするのでしょうか。

ドイツ出身のヴァレンティンさんは幼い頃からずっと動物を大切に思ってきました。ヴァレンティンさんはまだ子どもだった頃に、怪我をしていた猫を助けて手当てした事もあります。

困っている動物を見ると放っておけない性格でした。

大人になってからは世界各地を旅してまわりましたが、最終的にたどり着いたのは動

物の楽園アフリカでした。

「やっぱりここで動物に関わる仕事がしたい」

そう考えていた時に出会ったのが、同じく動物に魅了されてアフリカへやってきたデンマーク人のミッケルさんでした。

2人はボツワナで自然保護プロジェクトを立ち上げました。

野生動物の保護を目的とするプロジェクトです。

2人が困っている動物がいないかどうかパトロールに出かけた時の事でした。

ライオンの子どもがたった1匹でいるところを2人は発見しました。

メスのライオンで非常に弱っており、瀕死の状態です。

「かわいそうに。この状態だから群れから見放されたんだろう」

2人は子ライオンの弱った様子からすぐに状況を察しました。

自然界で生きる事はとても厳しいものです。

百獣の王ライオンと言えども、弱っている子どもを連れて歩くのは危険を伴います。

ハイエナの群れに襲われてしまう可能性もあります。

残念ですがこの子を置いていかざるを得なかったのでしょう。

2人はひとりぼっちの子ライオンを連れて帰りました。

そうしてヴァレンティンさんとミッケルさん、子ライオンの共同生活が始まりました。

ライオンにはシルガと名前が付けられました。

ヴァレンティンさんとミッケルさんの思いはただ一つ。

「シルガを野生に帰すこと」です。

まだ幼いシルガは本当に可愛らしく、2人とも我が子のように大切に思っていました。

けれどシルガにとって、人間に慣れてしまう事は危険な事です。

ただ可愛がるだけではなく、きちんと野生に帰る為には人に慣れすぎないようにしなければなりません。

シルガと接するのはヴァレンティンさんとミッケルさんの2人だけ。

そう決めた2人は決して他の人間をシルガと交流させたりしませんでした。

「シルガにはちゃんと自然に戻って欲しい。それがシルガにとっての本当の幸せだ」
ヴァレンティンさんとミッケルさんは共通の強い意志を持っていました。

2人は本当にシルガの為を思い、幸せを願っていたのです。

それはまさに親としての気持ちでした。

ヴァレンティンさんとミッケルさんは、シルガの世話をするだけでなく狩りの仕方も教えます。

野生に戻る為には重要な事だからです。

人間がライオンに狩りの仕方を教えるのは簡単な事ではありません。

何度も何度も練習を重ね、ようやくシルガが獲物を狩ることが出来るようになった頃、
2人は複雑な気持ちに襲われはじめていました。

シルガが1人で狩りが出来るようになったという事は、いよいよ彼女を自然に戻す時
が来たからです。

もちろんこの日が来ることを目標にして2人でシルガを育ててきました。

野生に帰す事がヴァレンティンさんとミッケルさんの共通の目標だったのです。

けれど寂しい気持ちはどうしても湧き上がってきます。

我が子のように育ててきたシルガ。可愛らしい所をたくさん知っています。

2人の事を本当に慕って、いつも甘えてくるシルガ。

そんなシルガとついに離れる事になり、その寂しさは想像以上でした。

それでも自分達の気持ちを抑え込んで、2人はシルガに別れを告げます。

それが我が子のように可愛がってきたシルガの本当の幸せだと信じて。

シルガはついに野生動物の保護地区へと放されました。

一年後、ヴァレンティンさんはシルガがいる保護地区を訪れました。

「シルガは上手く自然界で生きているのだろうか」

親として心配になりながら、恐る恐る様子を見に行きました。

けれどその心配は杞憂に終わります。

そこには大きくなったシルガの立派な姿がありました。

シルガはちゃんと野生に帰り、生き延びる事が出来ていました。

そしてシルガは予想を上回る反応を示します。

シルガはヴァレンティンさんを覚えていて、すぐに駆け寄ってきました。

そしてヴァレンティンさんにしっかりと抱きついたのです。

まるで子猫のように。

シルガの嬉しそうな表情はまさに、子どもが親に会えた時のものでした。

ずっとヴァレンティンさんに会えずに、寂しく思っていた事が、その表情から伝わります。

シルガを本当に大切に思い、育ててきたヴァレンティンさんとミッケルさん。

彼らの思いはちゃんとシルガに伝わっていました。

会えなくても、育ての親を忘れたりしなかったシルガ。

シルガの中にはいつも2人の存在があるのでしょう。

ヴァレンティンさんとミッケルさんという大切な存在を胸に、シルガは自然界で幸せに暮らしているのです。

以 上

(別紙)

投 稿 記 事 目 録

閲覧用URL : https://raku-zo.com/200726_lion-_cub/

5 ウェブサイト名:人生を楽しむブログメディア | 楽蔵-raku-zo-【らくぞー/ラクゾー】

記事タイトル : 幼い子ライオンを救った男性。野生に戻した1年後の再会結果は!?

投稿日時 : 2020年7月27日 (初回投稿日時)

2020年10月14日 (最終更新日時)

以上

(別紙)

本件テロップの内容

ボツワナ共和国に、人間に育てられたライオンがいます。

5 人間のエゴでそうなったのではなく、あくまでもライオンを自然に戻す為の生活です。

無事に自然に戻る事のできたライオンは、その後久しぶりに育ての親である人間に再会した時、

どのような反応をするのでしょうか。

10 ドイツ出身のヴァレンティンさんは幼い頃からずっと動物を大切に思ってきました。
ヴァレンティンさんはまだ子どもだった頃に、怪我をしていた猫を助けて手当てした事もあります。

困っている動物を見ると放っておけない性格でした。

大人になってからは世界各地を旅してまわりましたが、最終的にたどり着いたのは
15 動物の楽園アフリカでした。

「やっぱりここで動物に関わる仕事がしたい」

そう考えていた時に出会ったのが、

同じく動物に魅了されてアフリカへやってきたデンマーク人のミッケルさんでした。

2人はボツワナで自然保護プロジェクトを立ち上げました。

20 野生動物の保護を目的とするプロジェクトです。

2人が困っている動物がいなくどうかパトロールに出かけた時の事でした。

ライオンの子どもがたった1匹でいるところを2人は発見しました。

メスのライオンで非常に弱っており、瀕死の状態です。

「かわいそうに。この状態だから群れから見放されたんだろう」

25 2人は子ライオンの弱った様子からすぐに状況を察しました。

自然界で生きる事はとても厳しいものです。

百獣の王ライオンと言えども、弱っている子どもを連れて歩くのは危険を伴います。

ハイエナの群れに襲われてしまう可能性もあります。

残念ですがこの子を置いていかざるを得なかったのでしょう。

2人はひとりぼっちの子ライオンを連れて帰りました。

5 そうしてヴァレンティンさんとミッケルさん、子ライオンの共同生活が始まりました。

ライオンにはシルガと名前が付けられました。

ヴァレンティンさんとミッケルさんの思いはただ一つ。

「シルガを野生に帰すこと」です。

10 まだ幼いシルガは本当に可愛らしく、2人とも我が子のように大切に思っていました。

けれどシルガにとって、人間に慣れてしまう事は危険な事です。

ただ可愛がるだけではなく、きちんと野生に帰る為には人に慣れすぎないようにしなければなりません。

15 シルガと接するのはヴァレンティンさんとミッケルさんの2人だけ。

そう決めた2人は決して他の人間をシルガと交流させたりしませんでした。

「シルガにはちゃんと自然に戻って欲しい。それがシルガにとっての本当の幸せだ」

ヴァレンティンさんとミッケルさんは共通の強い意志を持っていました。

2人は本当にシルガの為を思い、幸せを願っていたのです。

20 それはまさに親としての気持ちでした。

ヴァレンティンさんとミッケルさんは、シルガの世話をするだけでなく狩りの仕方
も教えます。

野生に戻る為には重要な事だからです。

人間がライオンに狩りの仕方を教えるのは簡単な事ではありません。

25 何度も何度も練習を重ね、ようやくシルガが獲物を狩る事が出来るようになった頃、
2人は複雑な気持ちに襲われはじめていました。

シルガが1人で狩りが出来るようになったという事は、いよいよ彼女を自然に戻す時が来たからです。

もちろんこの日が来る事を目標にして2人でシルガを育ててきました。

野生に帰す事がヴァレンティンさんとミッケルさんの共通の目標だったのです。

5 けれど寂しい気持ちはどうしても湧き上がってきます。

我が子のように育ててきたシルガ。可愛らしい所を沢山知っています。

2人の事を本当に慕って、いつも甘えてくるシルガ。

そんなシルガとついに離れる事になり、その寂しさは想像以上でした。

それでも自分達の気持ちを抑え込んで、2人はシルガに別れを告げます。

10 それが我が子のように可愛がってきたシルガの本当の幸せだと信じて。

シルガはついに野生動物の保護地区へと放されました。

一年後、ヴァレンティンさんはシルガがいる保護地区を訪れました。

「シルガは上手く自然界で生きているのだろうか」

親として心配になりながら、恐る恐る様子を見に行きました。

15 けれどその心配は杞憂に終わります。

そこには大きくなったシルガの立派な姿がありました。

シルガはちゃんと野生に帰り、生き延びる事が出来ていました。

そしてシルガは予想を上回る反応を示します。

シルガはヴァレンティンさんを覚えていて、すぐに駆け寄ってきました。

20 そしてヴァレンティンさんにしっかりと抱きついたのです。

まるで子猫のように。

シルガの嬉しそうな表情はまさに、子どもが親に会えた時のものでした。

ずっとヴァレンティンさんに会えずに寂しく思っていた事が、その表情から伝わります。

25 シルガを本当に大切に思い、育ててきたヴァレンティンさんとミッケルさん。

彼らの思いはちゃんとシルガに伝わっていました。

会えなくても、育ての親を忘れたりしなかったシルガ。

シルガの中にはいつも2人の存在があるのでしょう。

ヴァレンティンさんとミッケルさんという大切な存在を胸に、シルガは自然界で幸せに暮らしているのです。

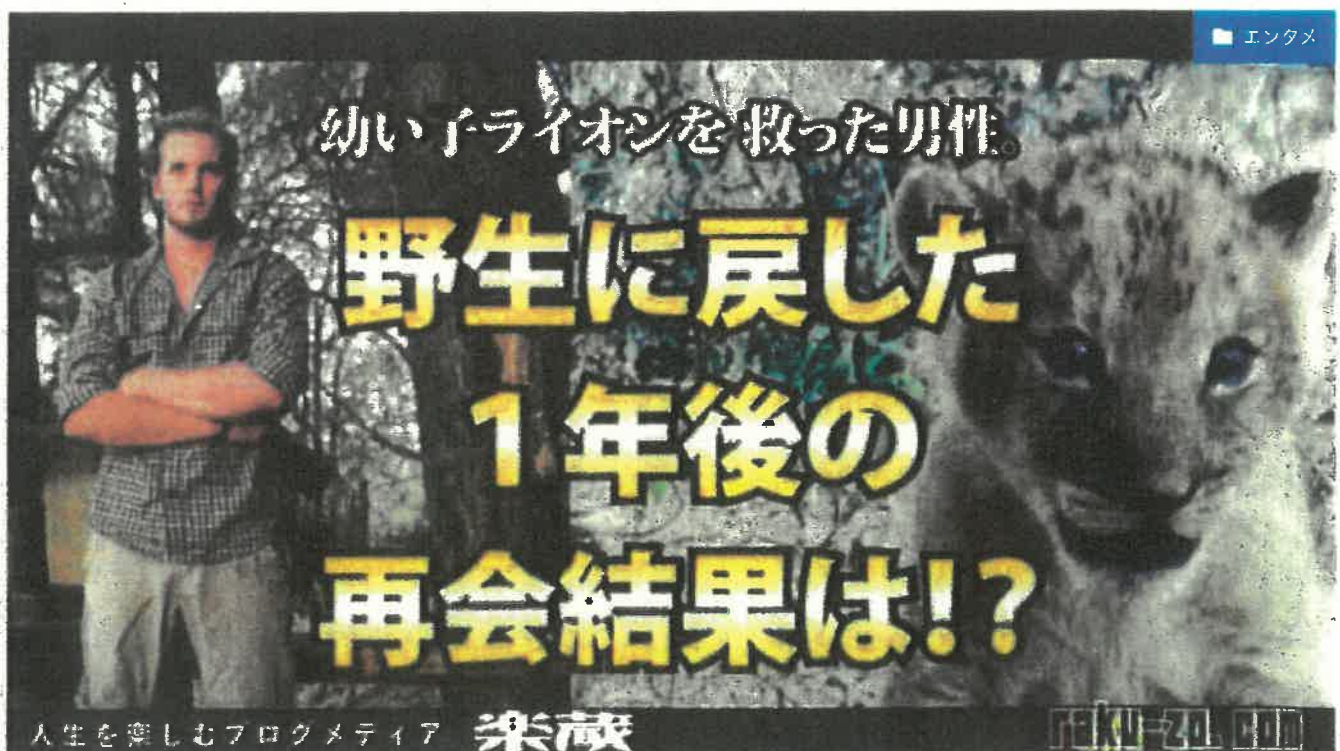
(別紙)

幼い子ライオンを救った男性。野生に戻した1年後の再会結果は！？

🏠 HOME エンタメ 幼い子ライオンを救った男性。野生に戻した1年後の再会結果は！？

幼い子ライオンを救った男性。野生に戻した1年後の再会結果は！？

🕒 2020年7月27日 🔗 2020年10月14日 📺 エンタメ 📺 YouTube. 動画, 感動



f Facebook

🐦 Twitter

B! はてブ

📧 Pocket

📞 LINE

in LinkedIn

📌 Pinterest



ボツワナ共和国に人間に育てられたメスライオン、『シルガ』がいます。今回紹介するのは人間とメスライオン『シルガ』の感動のストーリー動画紹介と動画の内容の解説です。

ご覧ください。

目次 開く

幼い子ライオンを救った男性。野生に戻した1年後の再会結果は！？の動画

感動のストーリーの動画、『幼いライオンを救った男性。野生に戻した1年後の再会に涙が溢れる【感動】』を紹介します。

幼いライオンを救った男性。野生に戻した1年後の再会に涙が溢れる【感動】



ここから先は動画を文面に起こしたものや関連情報、動画を紹介しています。

幼いメスライオンを救った2人

この感動のストーリーは2人の人間から始まります。その1人がヴァレンティンさん。ヴァレンティンさんはドイツ出身。幼い頃よりずっと動物を大切に思ってきました。

子どもだったころ怪我をしていた猫を助けて手当てをした経験もあります。困っている動物を見ると放っておけない性格でした。

大人になってからは世界各地を旅してまわりましたが最終的にたどりついたのは動物の楽園アフリカでした。



「やっぱりここで動物に関わる仕事がしたい」

ドイツ出身のヴァレンティンさん。

「やっぱりここで動物に関わる仕事がしたい」

そう考えていた時に出会ったのが同じく動物に魅了されてアフリカへやってきたデンマーク人のミッケルさんでした。



同じく動物に魅了されてアフリカへやってきた
デンマーク人のミッケルさんでした。

デンマーク人のミッケルさん

2人はボツワナで野生動物の保護を目的とする自然保護プロジェクトを立ち上げました。



ヴァレンティンさんとミッケルさん達とシルガとの出会い

2人が困っている動物がいらないかどうかパトロールに出かけた時の事でした。ライオンの子どもがたった1匹でいるところを2人は発見しました。



そのメスの幼いライオンで非常に弱っており、瀕死の状態です。

「かわいそうに。この状態だから群れから見放されたんだろう」

自然界で生きる事はとても厳しいものです。百獣の王ライオンと言えども、弱っている子供を連れて歩くのは危険を伴います。ハイエナの群れに襲われてしまう可能性もあります。この子を置いていかざるを得なかったのでしょう。



2人はひとりぼっちの子ライオンを連れて帰りました。

子ライオンと人間の共同生活

そうしてヴァレンティンさんとミッケルさん、子ライオンの共同生活が始まりました。



ライオンにはシルガと名前が付けられました。

ヴァレンティンさんとミッケルさんの思いはただ1つ。

シルガを野生に帰すこと。

かわいいシルガ

まだ幼いシルガは本当に可愛らしく、2人とも我が子のように大切に思っていました。

しかし、人間に慣れてしまっただけではいけません。ただ可愛がるだけではなく、きちんと野生に帰るためには人に慣れすぎないようにしなければなりません。

シルガに接するのはヴァレンティンさんとミッケルさんだけ。他の人間とは交流させませんでした。



2人はシルガの幸せ、野生に戻る事を1番に考えていました。

それはまさに親としての気持ちでした。

シルガの成長、シルガに狩りを教える

2人は世話だけでなく、狩りの仕方も教えます。野生に戻るために重要な事だからです。



人間が狩りを教えるのは簡単ではありません。何度も何度も練習を重ねました。

シルガとの別れ

狩りの練習を何度も練習を重ね、ようやくシルガは獲物を狩る事が出来る様になった頃、2人は複雑な気持ちになりました。



シルガが1人で狩りが出来る様になったという事はいよいよ彼女を自然に戻す時が来たからです。

この日を目標にしてシルガを育ててきました。

けれど、さみしい気持ちはどうしても湧き上がってきます。我が子のようにかわいがってきたシルガ。2人の事を慕いいつも甘えてくるシルガ。

シルガと別れる時がきました。寂しさは想像以上でした。それでも自分たちの気持ちを抑えシルガに別れを告げます。それがシルガの幸せだと願い。。。そうしてシルガはついに野生動物の保護地区へと放されました。

シルガが野生動物の保護地区へ放されて1年後...

そして時が経ちました。

1年後、ヴァレンティンさんはシルガのいる保護地区へ来ました。

「シルガは上手く自然界で生きているのだろうか」

親として心配になりながら恐る恐る様子を見に行きました。

そこには大きくなったシルガの立派な姿。シルガはちゃんと野生に帰り、生き延びる事が出来ていました。



そこで予想を超える事に。シルガはヴァレンティンさんを覚えていて、すぐに駆け寄ってきました。



そしてヴァレンティンさんに抱きつきました。まるで子猫のように。



シルガの表情はまさに子どもが親に会えた時の喜びの表情そのものでした。

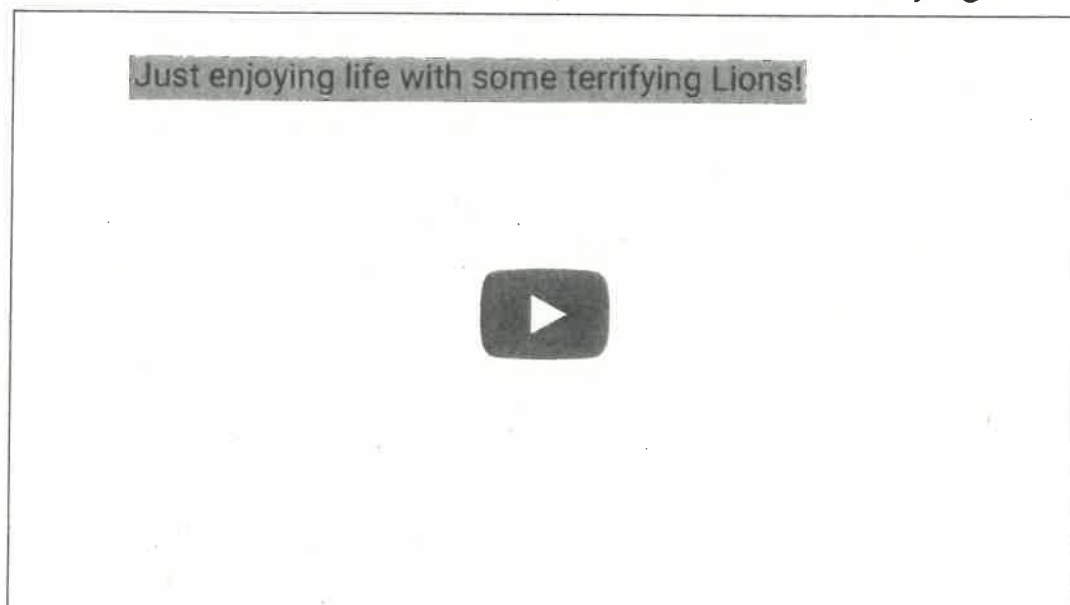
ずっとヴァレンティンさんに会えず、さみしかった事が分かります。シルガの事を思い大切に育ててきたヴァレンティンさんにミッケルさん。



彼らの思いはシルガにしっかりと伝わっていました。

こちらの動画はその時の様子でヴァレンティンさん達とシルガが再会した感動のシーン。立派な大人になったシルガが子どもの様に甘えている様子が見れます。

感動の再会シーン。Just enjoying life with some terrifying Lions!



会えなくても育ての親を忘れたりしなかったシルガ。シルガの中には2人の存在がずっとあるのでしょう。



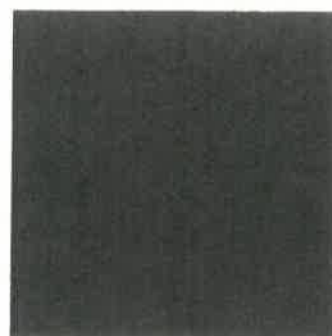
ヴァレンティンさんとミッケルさんという大切な存在を胸にシルガは自然界で幸せに暮らしているのです。

動物と人間。種族を超えた愛がそこにはあった。素晴らしいストーリーですね。

コチラはシルガの公式サイト。ヴァレンティンさんの想いや、シルガの物語を知る事が出来ます。

🌐 Sirga the Lioness

Sirga the Lioness



2人の男性想いがシルガを救いました。

2020/11/4

幼い子ライオンを救った男性。野生に戻した1年後の再会結果は！？で | 楽蔵 -raku-zo- 【らくぞー/ラクゾー】

この記事を読んでいるあなたも、同じような境遇の動物たちの命を救うことができます。彼らの想いや夢を実現し、シルガの様な動物の世界をより良い場所にする為にもこの物語をシェアしてください。シルガ、バレンティン、ミッケルの美しい物語をあなたも広め、協力する事が出来るのです。

以上、幼い子ライオンを救った男性。野生に戻した1年後の再会結果は！？でした。最後までお読みいただきありがとうございます。

